



たがはぎ

JANUARY
1
 月号

1997年
 No. 443

目次

P. 特集

② 高萩に寄せる思い
 新春座談会

10 Town News まちの話題

12 どんな仕事ですか？—財政課財政係—

13 くらしの情報

19 スポーツの結果

新春座談会

◎

将来に何を残せるか

国際感覚豊かな

子どもたちを育てたい

市長 今日の仕事や地域で活躍されているみなさんにお集まりいただき、それぞれ活動されている様子やその活動を通してのまちに対する思い、そして将来の高萩についてのお話などを伺いたいと思います。

楯さんは国際交流協会の会員として、広く活動していると伺い、いつも感心しています。

楯 ありがとうございます。私たちの活動は、いつも楽しみながらやっています。五月の国際交流の集いに始まり、ハワイの学生のホームステイや中学生の海外派遣など、協会の活動は年々充実しています。でも、ホストファミリーが少ないことが課題ですね。我が家には、留学生が来るようになって一〇年ほどになりますが、私は、特別な持てなしはしません。おしゃべりしたり遊んだりして、家族の一員として接しています。

佐川 私は、昨年初めてハワイの学生を家に迎え、ホストファミリーを体験しま

◆出席者◆

- ・佐川^{せんがい}倩崖さん
(高萩)
- ・楯 政子さん
(島名)
- ・市川 薫さん
(春日町)
- ・菊地英敏さん
(本町)
- ・高萩市長 大久保 清

した。子どもたちは、積極的なのですが、私などは、言葉はどうしよう、生活や習慣の違いはどうしようと、先にいろいろなことを考えてしまい、それで面倒なことと思ってしまうんですね。

菊地 私は、二年前、アメリカの農家に一六日間ホームステイしたことがあります。最初は不安でしたが、片言の英語と身振り手振りで話しかけていくうちに、農業を学びたいという私の意思が通じました。相手も農業のことを、身振り手振りで一生懸命教えてくれたことには感激しました。言葉よりも、気持ちが通じたと思っています。

市川 私は、青年会議所に所属し、国際青年年を契機に国際交流の集いに積極的に協力してきました。私もホストファミリーを三回経験しました。面倒というより、外国人を受け入れた経験が浅いから、一歩踏み出すことが容易にできないで戸惑っているという感じがします。

市長 高萩市の国際交流活動は、二〇年以上統っている国際交流の集いを柱に、たくさんの方の事業が行われるようになりましたね。今回で八回目を迎える海外派遣事業には、たくさんの方の中学生が応募したと聞いています。

楯 募集の二倍以上の応募者がありました。私は、昨年の事業でハワイへ同行しましたが、子どもたちの変化には驚きました。学校体験の朝は、それまでと違ってみんな緊張して不安な様子でした。でも、一日が終わって戻ってきた顔は出かける前と違うんです。ハワイの学生しか頼れない状態で一日過ごしたわけですから、本当に大変だったと思います。でも、なんだか輝いているんです。自分が一歩踏み出せば、相手も応じてくれる。そんな経験をしたらでしょうか。佐川 それに、子どもたちの体験は、大人になってから一生の仕事に結びついたりします。大人になって体験するのとは違い、子どもは、非常に感性が豊かです。私は、子どもたちに書道の楽しさを教えてあげたい、自分の技術を分けてあげたいと考えています。本当の芸術は、理屈ではなく、その子も個性の表現です。環境を整えてあげれば、必ず素晴らしい人材が育ってくれるものと考えています。

市長 そうですね。子どもたちを見ると、その環境で大きく変わっていくところがありますね。そんなことを考えると、先ほどみなさんからお話があった国際交

高萩に寄せる思い

市内には、いろいろな分野で情熱をもって活躍されている団体や個人の方々が、たくさんいます。それは、情熱の大小にかかわらず、高萩のまちづくりへの大きな活力源になっています。

ここでは、新春にあたり、夢と情熱をかけて取り組まれている4人の方を迎えて、『将来に何を残せるか』をテーマにこれからの高萩について語っていただきました。

流の環境づくりも、これからの子どもたちにとっては、大事なことだと思っています。これからの国際社会で活躍して行けるような国際感覚豊かな子どもたちを

育てて行くこと、それが、今の私たち大人の役割ですね。



〈左から菊地さん、楯さん、大久保市長、佐川さん、市川さん〉

親から子へ

伝えたいものがある

市長 佐川さんは、二代目ですね。二三歳で日展に入選し、二三回の入選を果たされている。すごいですね。お父さんの教えもあつたのでしょうか。

佐川 いいえ、父には教わりませんでした。二七歳のときに父を亡くしてから本格的に父の跡を継いできましたが、その当時は、父とは別だという考えに固執していました。でも、最近、父が築いてきた基礎があるから私が築いていくものが積み重ねられていくのだな、ということを感じています。『継続は力なり』とは、こういうことなんでしょうね。

書は、瞬間的な芸術ですから、多くの経験や学習を必要とします。紙質や墨の種類は沢山あり、墨が紙にどのようになじむのかは、無限の域です。知らず知らずのうちに師匠はもとより、父や多くの先輩の教えがあつて、人より早く経験していたために、日展という場へのステップを踏み出したのだと思っています。

市川 菊地さんは、会社を辞めて米平公共育成牧場に転職したと聞きましたが、その心境の変化は。

菊地 私は、農家に生まれ育ったわけですが、学校卒業後に勤務した会社は、工業製品を造るという、農業とは全く無縁な職場でした。しかし、会社勤めで多くの人と話をしていく中で、自分の一生の仕事は何だろうと考えるようになり、その答えが農業でした。自分が手塩にかけたものを、自分で収穫できる仕事に魅力

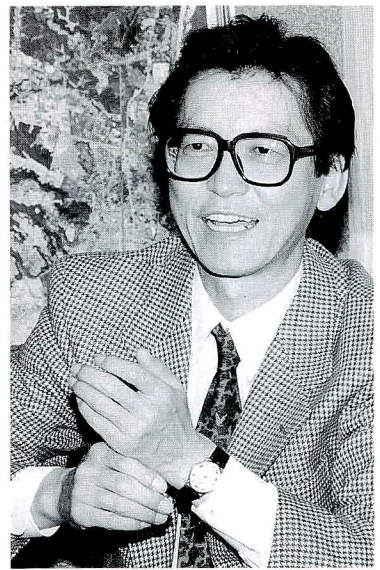
『高萩市の生んだ作家たち』



(約40人の芸術家が活躍中)

書道を始め日本画、油絵、陶芸、写真、切り絵など、幅広い分野において活躍されている高萩市出身の芸術家のみなさん。日展をはじめとする各種の中央展や県展に入選を果たされ、芸術文化の向上に大きく貢献されています。その作品は市内でも発表され、市民のみなさんにも身近に芸術にふれられる機会が得られています。

「高萩が好きだから、ずっと住んでいたいからがんばってしまうんです」といってくれた4人のみなさんの主な活動を紹介します。



さがわ けんじ
佐川 健二さん

書道家。日展入選は23回。
日展の会友、読売展・謙慎
展・県展の審査員。



いちかわ かおる
市川 薫さん

写真店経営。平成9年の
(社)高萩青年会議所副理事
長。

高萩に「光るもの」を残したい

たちに伝えてあげたいと思っています。

市長 市川さんは、三代目ですね。

市川 はい。私の場合、写真を仕事にしていますが、相手の要望に応えられるものを作ることが楽しいですね。これは、自分の感性を生かせるものであり、それが仕事として継承していけるのは恵まれています。青年会議所の仲間とは、十年、二十年先のことを話し合っています。私たちの取り組みで何をふるさと高萩に残せるだろうか。ハーモニーパークは、若者が集い楽しめるゾーンにしようと、夏に『ビバフリー』という祭りを開いています。『森で遊ぼう』を開きながら模索するものをつくり残していきたいと思いますね。

榎 高萩らしさ：ということですね。市川 そうです。他にも、駅前希望の塔を光のクリスマスツリーに仕立てたり、高萩の自然を曲に表現する大和太鼓や市民吹奏楽団のみなさんなど、それぞれの分野で熱心な活動が展開されていますね。できればこれからは、共通の高萩らしさをみんなで作っていくいきたいし、つくりなればと思います。

佐川 将来、高萩に「光るもの」がほしいと、だれもがそう望んでいます。小さな「光るもの」は、市内にたくさんあります。それら個々のものをどのように有機的に結びつけていくかが大事ですね。また、大型店の出店により商店へのダメージもあるでしょうね。私たちの世代は、これまでの付き合いを大事にしてお店を選んで買い物をしますが、若い人たちは、商品の選択が先立つと思いますね。市川 その点では、厳しくなると思います。もっと個性を出していかなければ生

有志による高萩国際交流の集い実行委員会が、協会の起源。昭和五年から始まったホストファミリーで、五七か国から九五六人の留学生を高萩市に迎えました。平成二年から始まった中学生の海外派遣事業では、一六人の中学生を派遣し、今年の三月にも三〇人の中学生がハワイに向かい、体験学習や研修にあたっています。

『高萩市国際交流協会』

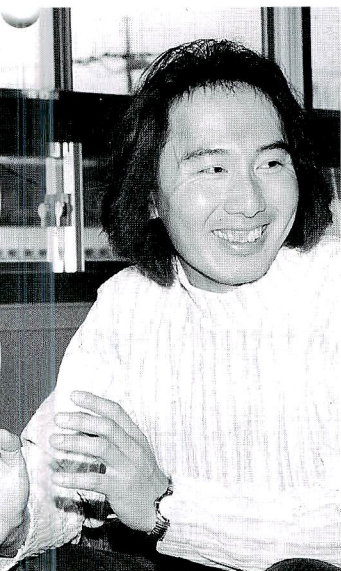


(留学生に琴を紹介)

市長 親の職業を継ぐ、ということは、その職業にひたむきな情熱を傾けていたご両親の姿を、幼い頃から見てきたことが影響しているのでは。菊地さんは、将来、畜産業の仕事に就くのでしょうか、牛肉の輸入自由化による影響も大きいでしょうね。そんな中で農業や畜産業を選んだその情熱は、すごいですね。菊地 まだ農業や畜産業の扉を開けて、一歩踏み入ったのですが、選んだからにはがんばっていかうと思っています。全国ブランドとしての『常陸牛』の生産を支えるためにも、子牛から手がけていきたいですね。少しでも安く、良質の子牛を作りたいから家畜人工受精士の資格も取りました。もともとたくさんの方を学んで経験を積み、経営者としての資質を身につけていきたいです。農業に携わる人との交流も深めていきたいですね。佐川 創設者は、希望もあるけれど苦労も大きいでしょう。一から造り上げていくことの苦労は計り知れません。創設者の情熱を思うとき、身が引き締まります。そんな親を見て育った私自身ですから、親から受け継いだものを、今度は子ども

きくち ひでとし
菊地 英敏さん

茨城県米平公共育成牧場に勤務。家畜人工受精士。



会議所の二一世紀プランのキヤッチコピーは、『いきいき「遊都PIA」たかはぎ：今、人間都市をめざして』です。会議所では、ハーモニーパークでのプロムナードフェスタ開催、高萩小町の選出、自然環境教育などに取り組み、市民のみなさんのふれあいの場をつくっています。会員四三人のふるさと高萩に寄



まさこ 政子さん

高萩市在住15年。大学の講師。国際交流協会の理事。

自然を残しながら 親しめる環境を 作っていききたい

き残っていけないと思っています。でも、大型店が出来たことを、集客手段の一つと捕らえていきたいですね。商業を駅前だけのエリアではなく、もっと広いエリアとして考えなくてはいけないと思っています。今、試行錯誤の状態ですが、私の仕事を次の代へと継承していくためにも、がんばりたいと思います。

市長 経営者は、判断が重要ですね。目的達成のためには、どのように進めていくか試行錯誤します。私も経営者でしたから、常に効率よい仕事や経営のあり方を考えていました。今だけという一過性のものの見方だけで仕事をするのではなく、一〇年や二〇年先のことを考えていくことも大事ですね。

そのためにも、先ほどのお話の中にもあったように、市民のみなさんが誇れるようなふるさと高萩の光るものを、今から作り、残していきたいですね。



高萩市長

大久保 清

楯 私は、日立市から高萩市に越してきましたが、高萩は、手ごろな大きさという感じがします。最初は、何も分からないので、とにかく何かやらなくてはと思い、小学校の役員になり、国際交流協会にも入りました。それらの活動をおしていろいろな人に出会い、まちの中を歩いていると、だれかしら知っている人に出会うようになりました。知っている人に会える親しみやすさや安心感を考えると、ちょうど良いサイズだなあ、と感じます。よく他から転入すると地元の人がよそよそしいと聞きますが、中に入っていくとそんなことないですね。自然にも恵まれている高萩は、住み心地がいいです。菊地 私の勤務している牧場周辺の四季

の移り変わりはすばらしいものですが、私だけが独占しているのは、とつてももったいないなあ、と思っています。高萩の海と山の自然は自慢できますが、どちらかといえば、山間地はまだまだ生かし切れていないと思います。調和の取れた道路網や、みなさんが自由に來て自然に親しめる施設などが、もつとあってもいいのではないのでしょうか。

佐川 私も高萩は好きです。好きだから、友人や書道に関係する他県の学校も呼んでいます。自然が近い、この雰囲気からいっていいです。私は、上君田の出身ですから、疲れたりするとふるさととの山を見たくります。高萩の自然は、安らぎますね。高萩の良さをもつと沢山のの人に知ってもらいたいと思います。

楯 私も紅葉の季節には、よく山に行きます。毎年行くようになって、今では、見るポイントが出来ました。高萩の自然は、大きな財産ですね。自然の中で、一日中過ごせる場所があるといいですね。子どもだけではなく、大人にとってもね。市長 みなさんが言われるように、高萩の自然はかけがえのないもので、ふるさととの光でもあります。この光を大事に守ることも大事ですが、気軽に自然に親しむことのできるような環境を作っていくことも必要だと思っています。

今日はそれぞれの分野で活躍し、次代につながるみなさんのお話を伺って心強く感じました。これからみなさんの情熱に応えられるよう、市の財政力や企画力、判断力などの体力を付け、魅力ある高萩市のまちづくりを進めていきます。長い時間、ありがとうございました。

ひたちぎゅう 『常陸牛』



(判定を受ける牛肉)

茨城県の雄大な自然の中で、農家のみなさんが、一頭一頭手塩にかけて育て上げた黒毛の和牛。その中でも食肉取引価格において上質とランクされた肉だけが『常陸牛』と認定されます。松坂牛や前沢牛と変わらぬ品質とおいしさで、全国ブランドとしての地位を保持しているのは、優秀な血統の選択と、肥育に寄せる農家のみなさんの愛情です。

『社高萩青年会議所』



(「ビバ!フリー」でのバンド演奏)

せる愛情とパワーが、年々高まっています。

よねだいら

中戸川の米平地区に伝わってきた

こう

しん

こう

庚申講

市街地から車で約三〇分のところにある中戸川の米平地区。この地区のみなさんは、「なくすのは寂しい」と、ここに伝わる庚申講を守っています。

しかし、どうしても時代の流れには逆らえず、年々、簡略化されています。地区の弓野直良さんと弓野重春さん、弓野勝男さん、弓野和枝さんの四人に集まっていたとき、当時の庚申講の様子を語っていただきました。

実りに感謝して

作神様を祭ります

庚申とは、干支の「庚申」のことです。人の腹の中には、三匹の虫が住んでいて、庚申の日の夜に、その人の罪惡を告げに天に昇るといいます。この虫が、神様のところへ行かないようにするために、地域の人たちが、決められた宿に集まって、寝ずに過ごすのが庚申講の日といわれています。

米平地区の場合は、庚申講と農業の神様である作神信仰が結びついています。庚申講の日は、今年の実りに感謝し、来年の豊作をみんなで祈る供養の日なのです。

今の庚申講は、年一回で農業の仕事が終えた一二月に行われています。しかし、昭和初期ごろまでは、二か月に一回の割合で行われてきました。一八回目の講、すなわち三年に一回は大供養にあたり、この時だけはお酒が振る舞われてきました。

宿決めは、家の並びの順で回り宿になりますが、簡素化される以前の大供養の宿決めは、くじ引きで決められていました。



朱塗りの箸で玉垣がつくられた庚申塚

大供養の日は、投げもちとお酒を持って、大塚神社の神官さんとともに地区のみなで、作神様である庚申様を祭つてある庚申塚へ行きます。塚は、地区に近い小高い丘の上に、牛馬の神様である妙見様と並んでいます。

昔は朝日の昇るまで

宿で過ごしました

大供養の宿にあたった家の主人は、塚に供える石を用意します。川の水で清められた石がいいと伝えられ、それに従ってきました。神官さんは、この石に『猿田比古命』という文字と大供養の年月日を墨で書いて塚に供えます。また、塚の周りには、朱塗りの箸を交差させて玉垣を作ります。この箸は、講の日に使ったもので、地区の世帯数と神様の分の箸三年分が塚に刺されました。

女性たちは、前日から宿に集まり、当日の食事の準備にかかります。メニューは、お煮しめやつけもの、甘酒、赤飯、煮豆、



庚申宿が書き記した『庚申宿覚帳』は、江戸時代からのものが残っています。それらを見ながら語る左から弓野重春さん、弓野勝男さん、弓野和枝さん、弓野直良さん。

シンガポールへ 指導者養成視察

茨城県青少年相談員連絡協議会では、国際化時代に対応できる指導者の養成を目的に、12月2日(月)から3泊4日の日程でシンガポールを訪問しました。この研修には26人が参加し、市内からは、同協議会会長の根本昇さん(鳥名)をはじめ佐々満さん(安良川)、白井進さん(高萩)、柴田薫さん(高戸)、柴田香さん(高萩)の5人が参加しました。参加者は、青少年を取り巻く環境や非行対策などの現状を知るため、政府関連の青少年問題担当機関である『ナショナル・ユース・カウンセル』で交流会を持ちました。



「ナショナル・ユース・カウンセル」の前で、前列左から根本昇さん、日本人通訳(シンガポール大学教授夫人)、佐々満さん、柴田香さん。後列左から白井進さん、柴田薫さん。

マナーを重視する国

シンガポールは、マナーを重視する国で、違反すると大変厳しい刑に処されています。

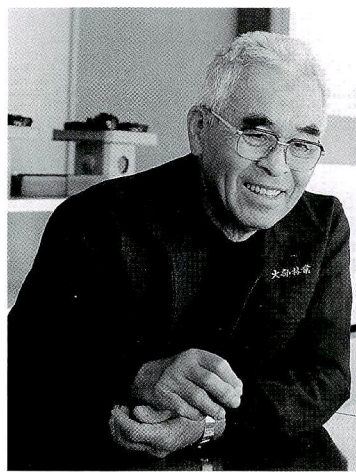
バスの中や歩行中のタバコは、禁止されており、指定された場所以外は吸うことができません。ごみのポイ捨てなどしようものなら、直ぐに処罰されてしまいます。これは、観光客でも同じことです。有害な図書やビデオなどの持ち込みも一切禁止されています。暴走族はいます。なぜならバイクや自動車は贅沢品とみなされ、日本の四倍以上のお金を払わないと手に入らないからです。

青少年に対する指導も徹底していますが、それより先に社会生活の規律が乱れないように大人が厳しく律せられているのです。参考にすべき点が多々ありました。

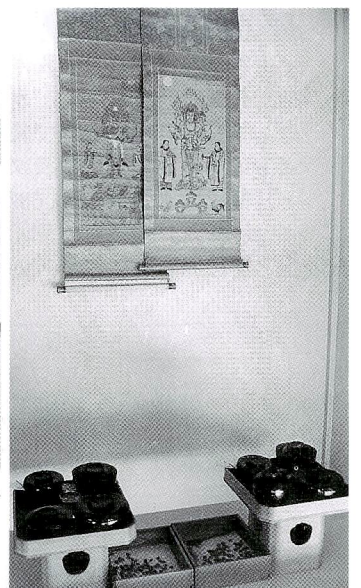
キンピラなどです。
「子どものころは、このご馳走が楽しみで、学校が終わると駆け足で帰ったものでした」と重春さん。また、「宿の床の間には、二本の掛け軸が下げられ、庚申様のお膳と、炒った白米と大豆が入った重箱が供えられます。お膳は、生臭いものは避けられ、田畑から収穫したもので整えられます。お酒のある大供養は、やはりにぎやかな夜になりました」と懐かしんでいます。
夜の主食は、うどんです。「うどんの振る舞い方は、わんこそばのようなやり方です。うどんを盛る皿を隠さない限り、どんどん盛られていくのです。このやり方は、今でも同じです」と和枝さん。
男性たちは、昭和初期のころまでは、朝日が昇ってから家に帰っていました。夕方、宿のお風呂に入り、寝ずに朝日が昇るまで談笑したり食事をしたりしていました。朝

日が昇ると、顔を洗い、塩で歯を磨いて庚申様を拝み、庚申様にお供えした重箱をみんなで回し、炒った白米と大豆を朝食がわりに食べました。
「今では、勤め人が増えてきたことや、時代の流れの中で、夜の10時に供養を終わりにしています。10時ごろに顔を洗うことで朝を迎えたことにして、無事に庚申講の日を過ごしたことにしているのです」と勝男さん。
「簡略化されたことは、寂しいですが、時代の流れの中での変化は、避けられないと思っています。昔は、多くの地区でも行われていた庚申講ですが、今では、消えて分からなくなっているようですね。庚申講に限らず、昔から伝わる生活習慣や催事を、残し伝えることは難しい時代になってきましたね」と直良さんは話しています。

昔の様子を話す弓野直良さん



床の間に用意された掛け軸とお膳



▼平成8年12月14日(土)に庚申講が行われ、宿で夕食を囲みみなさん。



国民健康保険事業

国民健康保険加入者のみなさんが納めたお金と国や市からのお金を、病気の治療に要した医療費や予防のための費用に充てました。

◎収入……19億 2,900万円

◎支出……18億 2,500万円

- ◆加入者(年平均)…10,089人(前年度より186人増)
- ◆一人当たりが納めたお金……66,337円
- ◆一人当たりに使ったお金… 180,890円
- [内訳] 医療費に …… 174,376円
- その他に …… 6,514円

老人保健事業

70歳になると、どの健康保険に加入していても、医療は老人保健の対象になります。老人保健では、自己負担を除いた医療費の7割を加入している健康保険が負担し、2割が国、残り1割を県と市で負担しています。

◎収入……26億 8,300万円

◎支出……26億 7,400万円

- ◆該当者(月平均)… 3,759人(前年度より194人増)
- ◆一人当たりに使った医療費… 704,670円
- [内訳] 入院の医療費に… 343,077円
- その他の医療費に 361,593円

水道事業

主な財源は、みなさんからの水道料金です。7年度の給水件数は320件増え、水道普及率が89.7パーセントに達しました。家庭などで使われた水は、1日平均11,058立方メートルで、中学校プールの約37杯分に当たります。1日最大配水量は、13,632立方メートルに達しました。また、新たに設置した配水管は約3.31キロメートルで、配水管の布設替えは約1.79キロメートルになりました。

	収 入	支 出
収益的	6億 7,700万円 (水道料金など)	6億 5,700万円 (維持管理経費など)
資本的	2億 1,100万円 (企業債など)	3億 8,000万円 (工事費など)

工業用水事業

松久保工業団地など7事業所に送っている工業用水は、主に工場の冷却水や洗浄水などに使われ、1日平均の配水量は17,698立方メートルに上っています。1日の最大配水量は、20,000立方メートルとなっています。

	収 入	支 出
収益的	1億 1,700万円 (料金など)	1億 100万円 (維持管理経費など)
資本的	1億 8,300万円 (企業債など)	2億 2,000万円 (企業債償還金など)

日立・高萩・十王広域下水道組合

下水道事業は、昭和57年から高萩市と日立市、十王町が協力してはじめられ、平成元年度からは順次各家庭で下水道が使えるようになりました。収入の主な財源は、国や2市1町からのお金と長期の借入金(組合債)です。支出については、大部分を下水道施設の建設費とそれに伴う長期の借入返済金に使いました。

○収入…55億 9,600万円

○支出…54億 2,400万円

■下水道が使える区域内の世帯数[平成8年3月末現在]
…18,059世帯(うち高萩市は6,792世帯)

■下水道を使っている世帯数[平成8年3月末現在]
…13,804世帯(うち高萩市は4,222世帯)

高萩市・十王町事務組合

事務組合では、ゴミやし尿の処理、そして火災や事故発生に備える消防や救急業務、斎場の管理などを行っています。

○収入…16億 8,200万円

○支出…15億 7,500万円

多賀地方農業共済事務組合

農業共済は、高萩市、日立市、北茨城市、十王町の農家と、国が掛け金を出し合って共同準備財産をつくり、災害が発生したときに共済金を支払い、農業経営を守るという保険制度です。農業は、自然条件により予知しない災害で大きな損害を受けやすいため、この業務は国もいっしょに運営しています。

○収入…2億 100万円

○支出…1億 7,900万円

高萩・北茨城と畜場組合

主な財源は、高萩市と北茨城市からのお金と、豚や牛を解体して肉店で販売している人が食肉センターを利用した使用料です。支出については、解体や処理のための水道・電気料金、汚泥の処理などに使いました。

○収入…3,400万円

○支出…2,200万円

高萩・北茨城広域工業用水道企業団

大北川を水源に、高萩市と北茨城市が協力して昭和59年から事業を始め、平成7年度末では、中郷工業団地に1日3,799立方メートルを給水しています。今後は、造成中の赤浜と南中郷の工業団地への給水を計画中です。

	収 入	支 出
収益的	1億 9,800万円 (料金など)	2億 5,500万円 (電気料など)
資本的	2億 2,800万円 (企業債など)	2億 2,800万円 (建設費など)

平成7年度

決算



まちづくりの

夢をのせて…

▲新しくなった東小学校の教室で学ぶ子どもたち

「海と緑を生かした産業・文化都市」を目指してたくさんの事業を進めている高萩市。この将来目標を定めた高萩市新総合計画の第二次基本計画最終年次となった平成7年度の決算内容を紹介します。

一般会計

一般会計の決算がまとまり、昨年の12月定例議会で承認されました。

主な財源は、みなさんが納めた税金と国・県からの交付金や補助金、そして長期の借入金（市債）などです。これらのお金は、市営住宅や小学校校舎の建設、道路の舗装、林道の開設、農業や商業の活性化事業などに使われました。

●市の主な財産●

・土地	76万329.21㎡
・建物	11万6,425.75㎡
・山林	78万7,760.84㎡
・財政調整基金(将来のための貯金)	4億5,779万5,126円
	平成8年3月末現在

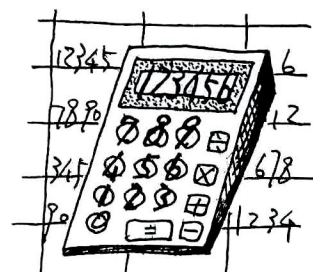
収入

項 目	金 額	構成比
市 税	43億 7,800万円	33.7%
地方交付税	30億 3,300万円	23.4%
国・県支出金	16億 8,200万円	13.0%
市 債	16億 600万円	12.4%
そ の 他	22億 6,600万円	17.5%
合 計	129億6,500万円	100%

市民一人当たりが負担したお金

(法人税を含む)
122,800円

- ・市民税は……54,700円
- ・固定資産税は……53,600円
- ・都市計画税は……8,400円
- ・その他……6,100円
(市たばこ税、軽自動車税、特別土地保有税)



支出

項 目	金 額	構成比
土 木 費	30億 7,700万円	24.7%
総 務 費	18億 4,100万円	14.8%
民 生 費	17億 9,500万円	14.4%
教 育 費	17億 7,700万円	14.3%
公 債 費	10億 5,300万円	8.5%
農林水産業費	8億 7,100万円	7.0%
衛 生 費	7億 8,600万円	6.3%
そ の 他 (議会費、消防費など)	12億 4,300万円	10.0%
合 計	124億4,300万円	100%

市民一人当たりに使われたお金

349,100円

- ・土木費に……86,300円
- ・総務費に……51,700円
- ・民生費に……50,400円
- ・教育費に……49,900円
- ・公債費に……29,500円
- ・農林水産業費に……24,400円
- ・衛生費に……22,000円
- ・その他……34,900円

※収入と支出の差額は、8年度予算において繰越金として使われています。しかし、水道事業と工業用水事業、高萩・北茨城広域工業用水道企業団については、企業会計を取っているためこれには該当しません。
※一人当たりの金額については、100円未満を四捨五入。人口は35,639人（平成8年3月1日現在）で計算しました。

主な事業

- ・花貫住宅建設（6～7年度、7～8年度各1棟継続事業）
- ・HOPE計画（地域の特色を生かした住まいづくりの計画）策定
- ・松岡地区環境整備事業（アプローチ広場整備など）
- ・東小学校校舎改築事業（普通教室棟、7～8年度継続事業）
- ・生涯学習の推進（一村一文化創造事業）
- ・金婚祝賀行事の実施
- ・（仮称）総合福祉センター基本構想及び基本計画策定
- ・小滝沢キャンプ場トイレ設置とキャンプ場整備事業
- ・高萩・北茨城新都市開発整備事業の事業化に向けた調査

町西側土地区画整理事業

昭和59年から本町地区を中心に取り組んできたこの事業は、平成11年に完了の予定です。公園の設置、そして道路や下水道の整備を進めることで、安全性の高い快適で魅力的なまちづくりの形成に努めています。

◎収入……2億 2,900万円

◎支出……2億 100万円



“ありがとう”と花束をプレゼント

12月9日(月)

「交通事故から守るために、いろいろな活動を進めている警察署のみなさん、交通事故をはじめ急病や急患などの往診や治療にあたっている病院のみなさん、いつもありがとうございます」と、高萩地区高萩交通少年団の6人が、高萩警察署と高萩協同病院を訪問しました。子どもたちから“ありがとう”のメッセージと花束をプレゼントされたそれぞれの職場のみなさんは、「これからがんばります」と、うれしそうでした。



「時期を見て、釣り場として開放したい」と、後谷下地区の利水組合では、コイとフナの稚魚350匹を購入して、11月27日(水)に農業用のため池に放流しました。同組合長の川上淳さん(高戸)は、「農業のための場所だけではなく、地域のみなさんにも楽しんでもらえる場所でありたいと考えています」と話しています。

また、これより先の25日(月)には、現在、ほ場整備が進んでいる松岡土地改良区でも、ホタルの幼虫のエサとなるカワニナ3,000個を同改良区の農業用排水路に放流しました。放流を手伝った松岡小学校の4年生の子どもたち約70人は、「夏の夜が楽しみです」と目を輝かせていました。



コイとフナの稚魚、カワニナを放流

技

高萩市の生んだ作家たち

ゆず 柚子の木のある風景



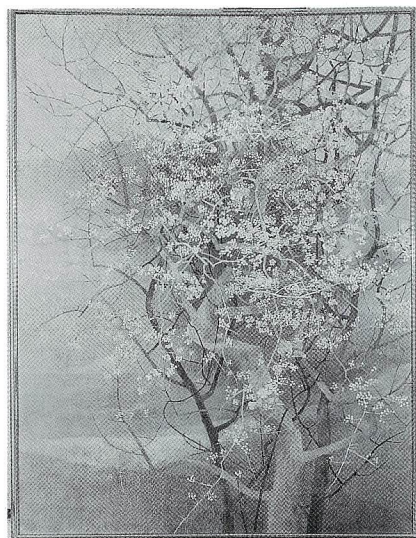
篠原康夫さん
(有明町)

「今までのモチーフの中で特に印象に残るものに“柚子”があります。冷え込み始めた晩秋の空気を薄紫色に染めたある山村で、落ち葉を炊く煙が、木立ちの中で縞を描いて流れていました。その中に、濃い緑色で独特の形をした葉、幹から細かい枝先まで無数に出ている鋭い棘、そして薫り立つ黄金色の実をつけた柚子の木が、永年の風雪に

日本美術院院友
茨城県芸術祭美術展会員
茨城美術会常任委員

耐え、凜とした気品をたたえて立っていたのです。以来、柚子の木のある風景に郷愁をそられ描き続けています」と話す篠原さん。

中央公民館の色紙絵クラブなどの講師にあたって3年になる篠原さんですが、18年前は色紙絵講座の生徒でした。この講座で村田猛先生と出会い、日本画の岩絵の具の織り成す不可思議な美しさやその色彩に魅了されて描き続け、春・秋の院展では、11回の入選を果たしています。



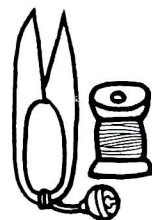
『深秋』 平成8年第81回院展

市内 ギャラリー 案内

高萩郵便局窓口ロビー
[午前9時～午後4時]

池坊華展

2月3日(月)～2月6日(木)



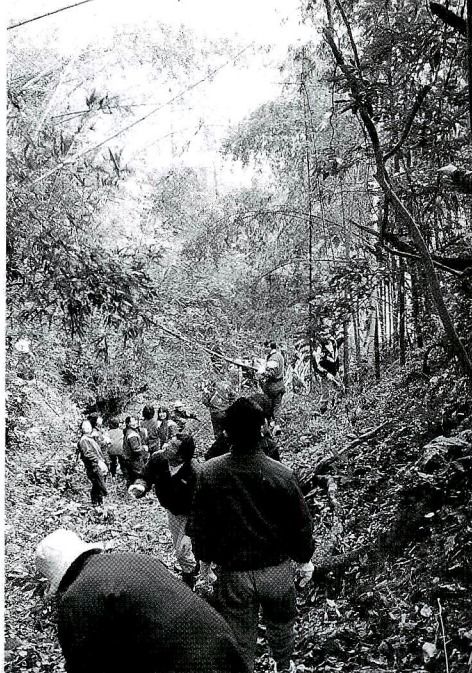
みよし手網店ギャラリー
[午前9時～午後6時30分]

パッチワーク
キルトサークル展

1月20日(月)～2月10日(月)



市民憲章推進協議会では、加入団体をはじめ各種団体に呼びかけて、竜子山城跡の山道の清掃活動を行いました。『郷土を理解する運動』として行われたこの活動は、今回で2年目。参加者約450人は、山道に覆いかぶさる周囲の篠を鎌で刈り取ったり、草を引いたりしました。参加者の中には、「室町時代にあった竜子山城は、ここの場所なのね」と、高萩市の歴史に思いを寄せている人の姿もみられました。



竜子山城跡を清掃

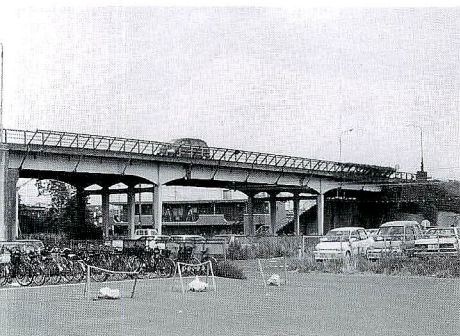
12月1日(日)



人と文化の交差点) 橋

高萩陸橋

橋は人を、水、車を、鉄道を運び、夢や理想を伝えています。



昭和35年12月にできた高萩陸橋。旧陸前浜街道と国道6号を結び、常磐線と立体交差するこの橋は、昭和31年に着工され、4年にも及ぶ工事の末に完成したもので、長さは268.3メートル。この橋の完成に伴い、それまで利用されていた肥前町踏切は廃止されました。そして、時代は急激な自動車の普及に合わせて、高速交通体系の整備へと進んできました。

あれから36年。橋の上では朝夕の慢性的な渋滞が日常的な風景になり、また橋の下では通過する列車も蒸気機関車から電車へとその姿が大きく様変わりするなど、時代の流れを感じさせます。

TownNews まちの話題

たうん・にゆうす

8月から街頭などで進めてきた『交通事故防止キャンペーン1万人署名運動』には、13,769人の署名が集まりました。この署名簿は、高萩警察署長の鬼沢武男さんに手渡され、さらに12月19日(木)には、県知事の橋本昌さんに渡されました。これに

対して知事は、「今後の交通死亡事故抑止に反映させたい」と述べられました。この署名活動にあたったのは、高萩地区交通安全母の会連合会と同安全運転管理者協議会、同交通安全事業主会、同交通安全協会の四団体です。

13,769人の署名を提出

11月28日(木)



つきたてのもちをほおぼる

12月15日(日)

高萩市手をつなぐ親の会では、『ふれあい交流会・もちつき大会』を老人いこいの家ことぶき荘で開きました。この会には、小・中学校の少数学級や県立北茨城養護学校の子どもたち、その卒業生、賛助会員、ボランティア団体などの約80人が参加し、交替にきねとうすでもちをつきました。参加者は、つきたてのもちをあんこやきなこ、大根などにつけて、おいしそうに食べていました。



まちづくりのための 市の予算を組んでいます

財政課 財政係
内線303

市に入ってくるお金を考えながら、効率的な予算を組み、また、国や県からのお金を借り入れる手続きなどを行っています。



●財政課財政係長
柴田浩之

●聞き手
田中優子さん
(東本町)

Q. 財政課財政係というとお金に関係のある仕事をしていると思いますが、具体的にはどんな仕事をしていますか。

A. 市に入ってくるお金を考えながら、市民のみなさんの役に立つ仕事をするために、予算を編成したり、大きな事業をするときに国などからお金を借りる手続きなどを行っています。これは主婦のみなさんがやっているような家計のやりくりと同じようなものですね。

また、財政課には管財係があり、ここでは市が発注する公共工事や物品購入の契約をはじめ、市が所有している財産の管理などを行っています。

Q. 私の子どもが通う東小学校の校舎がきれいになりましたね。このような事業には、どのように取り組んでいますか。

A. 校舎建築などの大きな事業は、市の基本計画の中に位置づけられていますので、事業は計画に基づいて進めています。東小学校では、平成九年度に特別教室棟の建設を予定しています。

また、将来の高齢化社会に対応するため、現在総合福祉センターの建設に向けて基本設計を作り準備を進めています。

「これからは、福祉の事業にたくさんのお金がかかるようになるでしょうね。景気も今一つなのですが、市の台所を預かっているわけですからがんばってください。」

千代町集会所



各地域に造っている集会所は、財政課で行っている仕事です。

Q. 国でいうと大蔵省ですね。その予算というのは、どのようにして作っていくのですか。

A. ちょうどこの時期が平成九年度の予算編成の時期にあたります。各課から出された予算要求書に対し、聞き取りを行って予算案を作っていきます。内部でさらに調整を重ねて三月の定例議会に提出し、議決された時に新年度の予算が成立します。毎年厳しい財政状況なので、財源の確保に苦労しています。

Q. そうすると今が一番忙しい時期ですね。



12/9・月

原口咲子さん(春日町)と鈴木文一さん(東本町)、塩手満夫さん(安良川)を囲んで、叙勲・褒章受章祝賀会が高萩ビーチガーデンで開かれました。出席した 185人のみなさんは、3人のご活躍をたたえとともにご家族の労をねぎらいました。



受章を祝う

Now!



劇団「らじかる・かんぱにー」の副リーダーを務める佐藤克江さん(高萩)

今、公演のことで頭がいっぱいです。役者の個性をどこまで引き出せるか、どう表現すると脚本の意図が観客のみなさんに伝わるのかと…。苦しい時もあるけど、演劇が大好きなんです。

市民憲章



1. 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。
1. 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう。
1. 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。
1. 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう。

笑顔がステキ!



「東京から高萩に移り住んで30年。交通の便や買い物に不満がありました。今は、豊かな自然が気に入っています」と鈴木孝義さん(上手綱)。趣味は船釣りや囲碁などです。

くらしの情報

市役所

☎ 23-2111

☎ テレフォンサービス

☎ 23-1151, 1152

☎ 火災・災害情報案内

☎ 24-0019

これからの主な行事

- 1/25…高萩いきいき住まいづくりシンポジウム
- 1/26…第22回新春高萩市民マラソン大会
- 2/2 …第21回交通安全市民のつどいと第18回交通事故追放豆まき大会
- 2/4 …夢蒼塾の元気のでるまちづくり講演会
- 2/8～12…第10回高萩市子ども作品展 ○2/8…星を見る会

●転入してきた人●

(平成7年)

1日に2.3人



DATA

35,491人
(-19)

12月1日現在

男 17,505人(-5)

女 17,986人(-14)

11,554世帯(+2)
()は前月比



納税は、
1月31日(金)
税務課 内線203
・市民税(第4期)
・県民税
・国民健康保険税(第5期)



●国民年金(1月分)

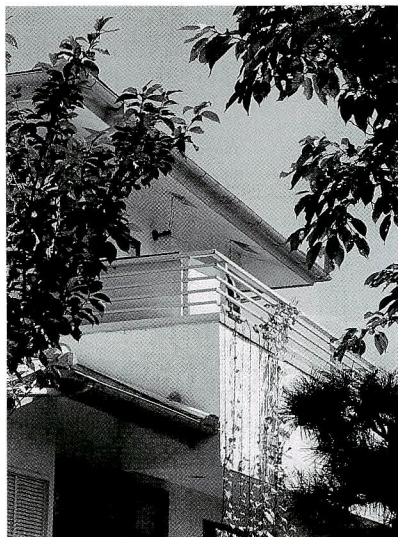
保険年金課 内線232
までにお忘れなく!



12/7・土

市政や市議会の仕組みなどを学び、まちづくりについて考える模擬子ども議会が開かれました。議場に臨んだ小学6年生20人は、通学路の改善や文化施設の設置、ごみ対策などを質問し、それに対して市長などが答弁しました。

初の子ども議会



これからの住まいやまちづくりについて、
市民のみなさんといっしょに考えるシンポジ
ウムです。

みなさんの来場をお待ちしています。

↑と き **1月25日(土)**
午後1時～4時
↑ところ **文化会館ホール**

《 入 場 無 料 》

高萩いきいき住まいづくりシンポジウム
市民がつくる快適な住まい・まち

日程等

- 12時30分 開場
1時00分～1時20分 開会行事
1時20分～1時40分 いきいき住まいづくりワークショップ
ー高萩まち歩き成果報告ー
昨年9月に行われたまち歩きの成果を、市民のみなさんが報告します。
(中心市街地・海岸寄り市街地・松岡地区・高戸地区)
- 1時40分～2時25分 講 演
○テーマ「高齢社会への準備と高齢者の住まいづくり」
[講 師] (財)日本建築センター研究員 園田真理子さん
○テーマ「中心市街地の再生とつくば方式住宅の可能性」
[講 師] 建設省建築研究所第1部住宅計画研究室長 小林秀樹さん
- 2時35分～2時55分 お絵かきコンクール表彰式
「50年後の高萩の家とまち」をテーマに、市内の小学6年生のみなさんが描い
た絵の表彰を行います。
- 2時55分～3時57分 パネルディスカッション
テーマ「これからの高萩の住まいづくり、まちづくり」
◇コーディネーター
茨城大学工学部都市システム工学科教授
平成7年度 HOPE 計画策定委員会委員長 山形耕一さん
◇パネラー
建設省建築研究所第1部住宅計画研究室長 小林秀樹さん
(財)日本建築センター研究員 園田真理子さん
茨城県住宅課長 大竹 亮さん
茨城県建築士会高萩支部及び市民の代表のみなさん
- 3時57分～4時00分 閉会行事



交通事故相談

1月16日(木)午前10～午後3時/市民相談室 生活環境課内線362*この日
以外は中央交通事故相談所へ。平日午前9～午後4時30分/水戸市棚町1
丁目水戸合同庁舎3階☎029-225-2803/弁護士相談は水曜日午後1～3時。

人権相談

(敬称略)

原口咲子☎22-3286 鈴木廣美☎28-0103
岡野邦弘☎23-2525 大平喜美子☎22-4128
大森啓三☎23-1245 市民課内線221

年金相談

- ・常陽銀行高萩支店☎22-2160…2月14日(金)午前10～午後3時
- ・茨城銀行高萩支店☎22-2028…1月28日(火)午前10～午後3時
- ・茨城ひたち農業協同組合高萩地区支店☎22-3617…平日午前9～午後4時

行政相談

1月9日(木)と23日(木)午後1～3
時/市民相談室/鈴木清相談員
☎22-2095 秘書課内線252

身体障害者相談員

椎名修☎22-2419
郡司寅松☎23-0687
鈴木康彦☎23-4316

司法書士相談

毎月第2水曜日/午後1～5時/茨城司法書士会☎029-225-0111

悪質商法相談

☎029-227-7379

茨城いのちの電話…24時間

☎0298-55-1000

ぼしゅう

粉雪の安比スキー場へ行こう

勤労青少年ホーム「スキー・スノーボード教室」

●とき 2月21日(金)から23日(日)。

車中泊の2泊3日で、21日の午後10時に勤労青少年ホームを出発。

●ところ 安比高原スキー場(岩手県)。

●宿泊所 八幡平ハイツ。

●募集人員 40人(定員になり次第締め切ります)。

●対象者 市内に居住、または勤務する勤労青少年。

●参加費 23,000円。

(交通費・宿泊費・リフト・日券・指導料・傷害保険料)

●申込 1月14日(火)から受け付けますので、参加費を添えて申し込み。

○勤労青少年ホーム

☎23-7177

今回はオリオン大星雲を観察します

星を見る会

●とき 2月8日(土) 午後7時30分から9時まで。

*雨天・曇天の場合は、翌9日(日)に順延。

●ところ 歴史民俗資料館東側駐車場。

●観察する星 オリオン大星雲。

●募集人員 30人(小学生以下は、保護者同伴のこと)。

●参加費 無料。

●申込 1月10日(金)から1月25日(土)までに、電話で申し込み。

○歴史民俗資料館

☎23-7229

お知らせ

平成9・10年度の受付けです

市役所の入札参加資格審査申請の受付

平成9・10年度の入札参加資格審査申請の定期受付を次のとおり行います。

●受付区分

①建設工事

②測量、建設コンサルタント等

③物品の製造・販売等

●受付日程 2月17日(月)から2月28日(金)まで(予定)

●その他 提出書類、その他詳細については、1月13日(月)以降にご連絡ください。

○財政課 内線 300

平成9年度の受付けです

下水道組合の入札参加資格審査申請の受付

平成9年度の建設工事、測量・建設コンサルタント、業務委託、物品、印刷の入札に参加を希望する業者は、入札参加資格審査申請書を次により提出してください。

なお、すでに資格を申請し、平成8年度及び同9年度の入札参加資格を得ている業者は、申請の必要がありません。

●提出期間

「広域圏外の業者」

2月3日(月)から2月12日(水)まで。

「広域圏内の業者」

3月3日(月)から3月12日(水)まで。

*土・日曜日を除いて、午前9時から12時と午後1時から3時までです。

●提出書類 下水道組合に問い合わせてください。

●提出方法 持参のみ受け付け。

○日立・高萩・十王広域下水道組合総務課財務係

☎32-5566

子どもたちの絵画や書を表示

第10回高萩市子ども作品展

●とき 2月8日(土)から12日(水)までの午前9時から午後5時。

最終日の12日は、正午まで。

●ところ 市民体育館。

●展示内容 絵画、デザイン画、書道、立体造形など。

●出展者 保育所(園)、幼稚園、小・中学校、県立北茨城養護学校の子どもたち。

○教育委員会生涯学習課

☎23-1131

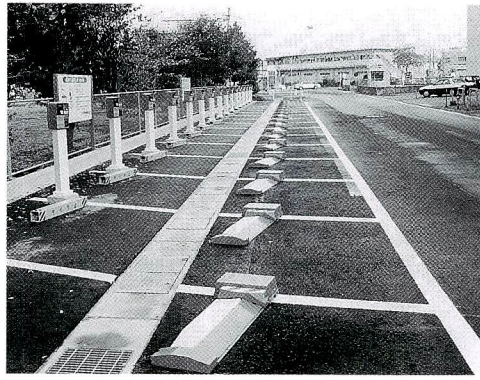
パークロック式の新しい駐車場

春日町第1駐車場をご利用ください

春日町児童公園東側に位置する春日町第1駐車場が新しくなりましたので、ご利用ください。駐車場はパークロック式で、料金は30分ごとに100円となっています。

○生活環境課 内線 362

◀新しかった春日町第1駐車場



ことばの教室

高萩小学校 ☎23-4240

精神薄弱者相談員

沼田うた子 ☎22-4544

家庭児童相談

毎週火曜日午後1～3時／市民センター福祉事務所内線352

心配ごと相談

毎週木曜日午後1～3時／市民センター 社会福祉協議会内線354

補装具の巡回相談

1月31日(金)午前9～12時／北茨城市心身障害者福祉センター福祉事務所内線353

精神保健相談(予約制)

1月22日、2月5日、12日、19日の水曜日午後1～2時／日立保健所 ☎0294-22-4188

なんでも食事相談(予約制)

毎月の第3月曜日午前9～11時 保健センター ☎24-2121

健康・育児相談

毎月月曜日午前9～11時／保健センター ☎24-2121

子ども(小・中学生)相談

教育委員会学校教育課 ☎23-1135

トイレの汲み取りの休み

1月19日(日)、26日(日)、2月2日(日)、9日(日)、11日(火)、16日(日)／花貫クリーンセンター ☎22-4318

少年の悩みごと相談

☎029-231-0900

南こうせつコンサート

1月31日(金)

□開演時間：午後6時30分

入場券
発売中

□入場料(全席指定)
5,000円

☎23-7411

文化会館 ガイド

・プレイガイド・

田所書店、仲屋書店、ヤマザキショップサカモト、モンペリ上島名ねもと・高浜やおけん・せきね・川上かねこ(十王)、ピアノマート(磯原)、日立市民会館、文化会館

島倉千代子ショー

3月16日(日)

□開演時間：

午後2時と6時の2回

入場券
発売中

□入場料(全席指定)
5,000円



童謡の集い

(北茨城市)

野口雨情の文化遺産を受け継ぎ、「第9回雨情の里童謡の集い」を開きます。

今回は、幅広い層にファンを持つ「デュークエイセス」をゲストに迎えた童謡たっぷりの一日です。

■とき 2月8日(土)午後1時30分から
■ところ ウエディングパレス白浜(関南町)
■内容

[第1部] 童謡作詞コンクール表彰
[第2部] 市内グループの童謡発表
[第3部] デュークエイセスふれあいコンサート
□北茨城市役所生涯学習課 ☎43-1111



☎23-1131

入学式にお渡しします
新入学のお祝いにランドセルをプレゼント
平成9年4月に、市内の小学校(高萩小、秋山小、松岡小、東小、君田小)に1年生として入学するお子さんに、新入学のお祝いとしてランドセルをプレゼントします。女の子は赤色、男の子は黒色のランドセルを予定しています。
このプレゼントは、4月の入学式のときになります。
○教育委員会庶務課

上級防火管理者防災講演会

●とき 2月5日(水) 午後5時30分から

●ところ シビックセンター音楽ホール(日立駅前)。

●演題 「みんなでやんなきゃだめ」市民と企業の安全について。

●講師 財団法人市民防災研究所 理事 池上三喜子先生

●入場料 無料。直接会場へ。

○高萩市・十王町事務組合消防本部予防課 ☎22-2258

第21回交通安全市民のつどい 第18回交通事故追放 豆まき大会

●とき 2月2日(日) 午前10時

交通事故のないまちづくり

講演会にお越しください

●ところ 文化会館。

●内容 「市民のつどい」功労者・交通安全ポスター入賞者の表彰式。松ヶ丘保育園の和太鼓演奏。

「豆まき大会」お楽しみ抽選会。

●入場料 無料。

○生活環境課 内線362

秋山小学校で講演会

脳の話聞いてみませんか

●とき 2月1日(土) 午前10時から午後11時30分まで。

●ところ 秋山小学校体育館。

●演題 「脳：神聖なる小宇宙」

●講師 聖麗メモリアル病院理事長 鎌田健一さん。

●入場料 無料。

○秋山小学校 ☎22-2108

夢蒼塾の

入場無料

元気のでるまちづくり講演会

高萩らしいまちづくりを進めている夢蒼塾では、全国各地で地域の特色あるまちづくりに取り組んでいる宮崎文隆さんを迎え、元気のでるまちづくり講演会を開きます。みなさんの来場をお待ちしています。

■演題 「ひとが輝きまちが輝く」(仮題)

■講師 過疎を逆にとる会事務局長 宮崎文隆さん

[過疎を逆にとる会と宮崎さん]

「何も無いということは何でもできる」が宮崎さんの持論。過疎地域のマイナスをプラスに考え、独創的なまちづくりを進めている「過疎を逆にとる会」。このプラス思考は、過疎地だけでなく都市部のまちづくりに生かされ、現在の会員は43都道府県から550人を超え、先進的な活動を行なっています。

この会の事務局長として活躍する宮崎さん。「ぼくらは人間応援団」と称し、年間100回以上の講演会で元気を全国に届けています。

□企画開発課 内線272

夢蒼塾長 塚原孝芳さん ☎22-2400

・とき 2月4日(火)
午後7時から9時まで。
・ところ 中央公民館2階会議室。



伝言板

所得税の確定申告書などの作成はご自分で。提出は、郵送などで。

所得税の確定申告のご準備はいかがですか。

平成8年分の所得税の確定申告と納税は、2月16日(日)から3月17日(月)までとなっています。(土・日曜日は閉庁)

サラリーマンなどの給与所得者で年末調整を済ませた人のうち、手術などにより多額の医療費を支払った場合、また借入金によって住宅を取得した場合で、一定の要件を満たしているときなどは、所得税の還付申告ができます。このような還付申告書は、1月以降ならいつでも提出することができます。期限間近になると窓口が大変混雑しますので、早め

に済ませてください。(市役所に提出する場合は、2月3日(月)から)

日立税務署では、申告納税制度の趣旨から、「自力記載・自力申告」を推進しています。確定申告書や収支内訳書などの提書類の記載にあたっては、「申告書の書き方」や前年の「申告書控」などを参考に、ぜひ、自分で正しく作成し、郵送などにより、早めに提出してください。

ご不明な点については日立税務署までお問い合わせください。

○日立税務署個人課税部門

☎0294-21-6348

税理士による

還付申告無料相談

2月1日(土)から2月15日(土)までの間、税理士事務所次の方のみなさんのうち、小額な還付申告相談及び申告書の作成を無料で行いますので、事前に電話連絡のうえ、お気軽にご利用ください。

- ・年金を受けている人。
- ・給与所得者で医療費控除を受けようとしている人。
- ・年の途中で退職または就職した人など。

□関東信越税理士会日立支部

大部満穂さん ☎23-6211

「みち」に対するご意見

ありがとうございました

昨年5月から7月にかけて行った「キックオフ・レポート」では、全国から11万件を超える「みち」に対するご意見をいただきました。

このいただいたご意見は、「21世紀のみちを考える委員会」で分析・検討し、「ボイス・レポート」としてまとめました。これからはその内容を参考に新たな道路計画づくりを進めていきます。

□建設省関東地方建設局常陸工事事務所調査第二課 ☎029-243-5135
同建設局常総国道工事事務所調査課 ☎0298-26-2040

茨城県土木部道路建設課

☎029-241-5845

新規学卒者の合同面接会

県では、平成9年3月に大学・短大・専修学校を卒業予定で、就職の決定していない学生のみなさんを対象に、新規学卒者合同面接会を開きます。就職を希望しているみなさんの参加をお待ちしています。

■とき 2月4日(火)午後1時から午後4時まで。

※受付は正午から午後2時まで。

■会場 サンシャイン常陽(水戸市白梅2-3-86) 水戸駅から徒歩15分。

■参加企業 約60社予定

■お願い ・駐車場に限りがありますので、車での来場は控えてください。

・企業との面接になりますので、履歴書を複数用意してください。

□茨城県商工労働部職業安定課

☎029-221-8111 内線3454, 3457

ハローワーク高萩 ☎22-2549

ご存じですか？

検察審査会

「交通事故、詐欺、脅しなどの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれないのは納得できない。もう一度審査できないものか。」このような不満を持っている人のために検察審査会があります。相談に関する費用は無料で、秘密は堅く守られますので、お気軽にどうぞ。

□水戸検察審査会事務局(裁判所内)

☎029-224-0011

県立北茨城養護学校の 学習体験

■とき 2月6日(木)午前9時15分から午後1時まで。

■会場 県立北茨城養護学校(北茨城市)。

■内容 [児童] 生活単元学習や遊びの指導、校内散歩と給食体験。

[保護者] 懇談会や学習見学、給食の準備や試食など。

□県立北茨城養護学校 ☎43-2622

平成9・10年度

教育改革モニター募集

文部省では、教育改革を進めるにあたり、広く一般国民の意見や要望を聞きながら各種施策を立案・検討するため、教育改革モニターを募集しています。

■仕事 教育改革に関する施策のうち文部省が依頼するテーマや教育について気付いた事柄を文書により提出していただきます。

■募集人員等 県内で11人(全国で500人) *依頼期間は2年。

■応募資格 教育改革に熱心な20歳以上の人。

■申込 1月17日(金)までに、所定の申込書により、県教育庁企画室広報担当グループまで申し込み。

*申込書は同グループで直接受け取るか、返信用封筒により請求してください。

■選考結果 4月ごろに、文部省から直接本人に通知があります。

□〒310水戸市三の丸1-5-38 茨城県教育庁企画室広報担当グループ

☎029-221-8111 内線5122

理容・美容・飲食業のみなさんの 定期外結核健康診断

■日時 2月17日(月)の午前9時30分から11時までと午後1時から3時まで。2月24日(月)の午後1時から3時まで。

■場所 旧高萩保健所。

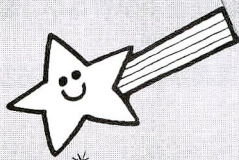
■内容 胸部エックス線の間接撮影。

■対象者 理容・美容・飲食業などに従事している人。

■費用 無料

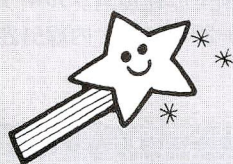
□日立保健所保健指導課

☎0294-22-4188



まちに希望の灯が点る

…私たちの作ったクリスマスツリー…



希望の塔…光のページェント '96
実行委員会
委員長 坂本喜己さん(下手綱)

平成4年、駅前商店会が中心になって開かれた空き缶クリスマスツリー。続く翌年からは「希望の塔…光のページェント」として衣替えし、今年で4年目を迎えます。年末のまちを彩る風物詩としてすっかり定着してきたこの事業を主催するのは、社会人や商店主などの若者によって組織された実行委員会

です。委員長を務める坂本さんは、市内の製薬会社勤務の会社員。「この事業が、市民のみなさんに温かく迎え入れられているのがうれしいですね。今年は夏から準備して、みなさんに買っていただいた200個の電球を飾りました。一人ひとりの光が集って、まちを照らす大きな光になればと思っています」と坂本さん。活動の魅力は「いろいろな職業の人といっしょに活動できること」。そして「年間を通して活動していきたい」と思っているので、もっと仲間を増やしていきたい」と将来の活動に向けて、現在会員を募集中です。



とうりかい
唐檜会

菅原他美雄さん(下君田)

平成4年から行っている「君田のクリスマスツリー」。君田十文字にある唐檜に約600個の電球を飾るこの事業を行っているのは、君田に住んでいる若者で組織する唐檜会です。「地域の活性化を住んでいるみんなの力で進めよう」と若者が集まって唐檜会をつくりました」と話す菅原さんは、130頭もの乳用牛を飼育する牧場経営者。君田のクリスマスツリーには、毎年仲間といっしょに唐檜に登って電球の飾り付けを行っています。「木の上からは、豊かな自然に囲まれた君田の集落が一望できます」と菅原さん。

この事業の資金は、会員が作ったキビ団子を産業祭で販売した益金を充てています。また、去年は唐檜会の企画と地域の協力で、君田地区としては初めての運動会を開催。君田地区の新たな活性化に向けた若いみなさんの取り組みが続いています。



善意の窓

* 市政振興のために

・ KDK(株) 1,000,000円

* 社会福祉協議会へ

・ (株)トキワ情報システム 15,680円
・ 関山宏志さん(本町) 100,000円
・ 郷土定吉さん(高浜町) 10,000円
・ 柴田貞子さん(東本町) 100,000円
・ 高萩協同病院(病院祭バザー益金) 70,000円
・ 神代 健さん(上手綱) 100,000円

ありがとうございました

・ 高萩地区更生保護婦人会 20,000円
(このほか、(財)有光苑、臨海学園、高萩市手をつなぐ親の会、十王福祉作業所に計80,000円)

* リフト付送迎用車両購入資金の一部に

・ 高萩ロータリークラブ 200,000円
・ 高萩ライオンズクラブ 200,000円

* 君田小学校へ

・ 國分秀弥さん(上君田) ターザンロープ(1基)
ぴょんぴょん丸太(1基)

(敬称略)

■第16回高萩市民総合体育大会兼第21回バドミントン大会

- と き 平成8年12月1日(日) □ところ 市民体育館
 □参加チーム 男子の部…15チーム
 女子の部…14チーム
 □結果 (すべてダブルス)

	男子の部	女子の部
優勝	小川原秀樹・酒井信典組	片岡知幸・谷田部泉組
準優勝	樫村浩明・須田徹組	田中多美子・磯野ゆかり組
第3位	阿部裕・渡辺順次組	糸永真知子・有馬幸子組

■第45回高萩市民駅伝競走大会

- と き 平成8年12月8日(日)
 □参加チーム 64チーム
 □入賞団体 *チーム名の下段は所要時間

部門	優勝	準優勝	第3位
中学生	高萩中A 1°35'27"	秋山中A 1°37'59"	秋山中B 1°42'02"
高校生	松丘高校陸上競技部 1°42'18"	松丘高校野球部B 1°57'39"	松丘高校野球部A 1°58'15"
一般	高萩・十王消防署A 1°38'54"	高萩走友会A 1°45'58"	高萩・十王消防署B 1°49'16"
壮年	鳥島走ろう会A 1°44'57"	高萩走友会A 1°50'18"	高萩走友会B 1°56'16"
女子	高萩中A 1°53'02"	秋山中A 1°56'35"	松丘高校陸上競技部 2°01'11"
オープン (6区)	クレハ 1°32'44"	日立工業高校 1°37'38"	多賀高校 1°39'00"
オープン (10区)	呉羽エンジニアリング 2°00'10"	山之内製薬ラフエスタC 2°09'55"	

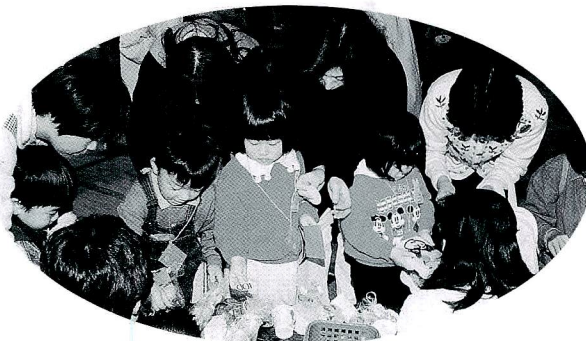


「常陸牛は、どこで取り扱っているの？どこでたべられるの？」という問い合わせに答えられず、電話帳で調べたところ、新聞で常陸牛の里と紹介されたのに、広報担当者がこれでは…。こだわりをもつて特産品づくりにあたっているみなさん、申し訳ありません。日々、口にしていないことにも原因がありますね。ヒロ

編集手帳

久々の風物詩としてすっかり定着した、駅前と君田のクリスマスツリー。どちらも仕事や職場を超えて集まった若いみなさんが作っています。北風が吹く冬空の下で準備をしているみなさんの口から出る言葉は、「楽しいからやっています」。その顔は、見上げたツリーの光に負けないくらいに大きく輝いて見えました。茂

HOT ほんと・・・タイム TIME



くまのこサークルで、 楽しいおみせやさんごっこ

12月6日(金)

就園前の子どもたちに、遊びをとおして集団生活の楽しさを教える活動が続いている「くまのこサークル」。今回は、おみせやさんごっこに挑戦。会場には、銀行をはじめ4つのお店が並び、段ボールで作ったバスで移動。折り紙や紙コップなどで作られた品々がたくさん並んだお店の前では、紙のお金を握った子どもたちの真剣なまなざしと喚声があちこちから上がっていました。

こくみんねんきん

年金

一口メモ

今回の基礎年金番号は、
どんな
利点があるのでしょうか。

次のような利点があります。

□もれた人、未加入者の解消に力を発揮します。

国民年金は国内に住んでいる20歳から60歳未満の人のうち厚生年金、共済などに加入している人と、その妻で扶養になっている人を除き、すべて国民年金に加入し納付する義務があります。

これまで、それぞれの年金制度が連結していませんでしたので、本人が手続きをしないと未加入期間となったり、すでに時効期間(国民年金の場合は2年間)となってしまう、納めたいと思っても納められず、60歳になっても満額の年金を受け取れない人がたくさんいました。

基礎年金番号は、どの年金制度に移行しても一生変わりませんので、加入者に異動があり必要な手続きをとっていない場合はすぐに通知できますので、加入もれを防ぐことができます。

□年金の請求が迅速に行われ、将来の受給額の計算などのサービスも受けられます。

各制度共通の番号になったことにより、記録の管理が容易になります。これまで、複数の記号や別制度の加入期間のあった人は、その調査に大変な労力と時間を要していましたが、今回の制度改正でサービスは大きく向上します。

*この基礎年金番号は、社会保険業務センターで一括管理しますが、専用のシステムを使用することにより、プライバシーの保護には万全を期しています。

●保険年金課 内線232

みんなの年金を
守る鍵になるよ。



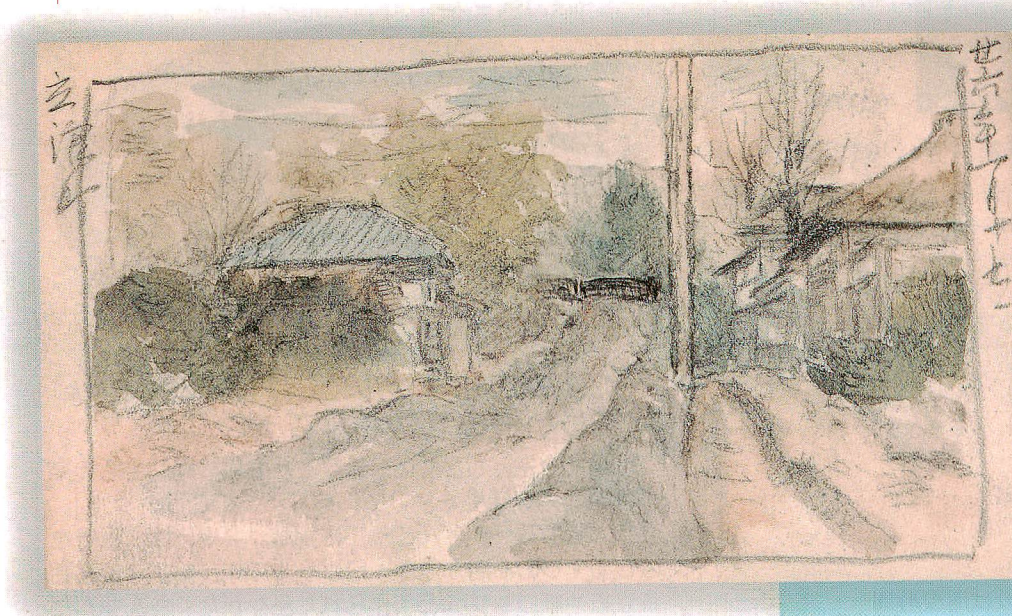
語りかける 風景

…たつなみちよう
立浪町…

スケッチ画から

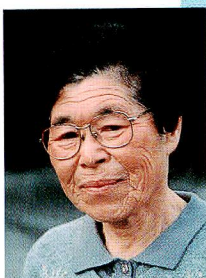
萩谷秋琴

しゅうきん



思い出 浪が立つほど水が あふれたときがありましたね

この絵は、私の家の前の様子ですね。右側の茅葺きの屋根は松村さんの門、左側の家は当時としては珍しい洋風の建物で、どちらも今でも残っています。通りの先に見える橋は、現在改修されている関根橋ですね。この橋の架かる関根川は、その昔大雨のたびにあふれ、腰までつかる水が浪を立てて流れた時もありました。ここは立浪町と言いますが、そんなことから名付けられたと聞いています。



樋口しげさん
(下手綱)



発行／平成九年一月六日

編集／茨城県高萩市役所市長公室秘書課

印刷／藤枝印刷

表紙紹介

高戸のり

今が……旬

季節の味

「ガッ、ガッ」と岩に付いたのりを削る音が潮騒の中に響きます。ここ高戸海岸では、冬季の風物詩ともなった岩のり採りが始まりました。「昨年はぜんぜんだめだったけど、今年はこれまでにない豊作」と大津漁協高戸支部長の皆川文夫（高戸）さん。採れた岩のりは、その日のうちに天日で干され、薫り高い「高戸のり」として販売されています。



2月の

日曜当番医です。

(時間) 午前9時～午後4時



2日	尖戸医院 (安良川) ☎23-2318
9日	内田医院 (大和町) ☎22-2137
	十王医院 (十王町) ☎32-3266
16日	飯島医院 (大和町) ☎22-2235
23日	樋渡医院 (大和町) ☎22-2202